

# 令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 長崎県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
長崎市	長崎みなとメディカルセンタ ー	2
佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市 総合医療センター	3
佐世保市	地方独立行政法人 北松中央 病院	4
大村市	市立大村市民病院	5
平戸市	国民健康保険平戸市民病院	6
平戸市	平戸市立生月病院	7
雲仙・南島原保健組合（ 事業会計分）	公立小浜温泉病院	8
長崎県病院企業団	五島中央病院	9
長崎県病院企業団	富江病院	10
長崎県病院企業団	上五島病院	11
長崎県病院企業団	上対馬病院	12
長崎県病院企業団	精神医療センター	13
長崎県病院企業団	島原病院	14
長崎県病院企業団	壱岐病院	15
長崎県病院企業団	対馬病院	16

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名 長崎県	
市町村・組合名	長崎市		
病院名	長崎みなとメディカルセンター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	409,118
決算規模(千円)	237,637,609
標準財政規模(千円)	102,172,438
財政力指数	0.57
経常収支比率(%)	98.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,924			
1 経常収益	24,924			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	24,924			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,924			
2 経常費用	24,924			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	-	-	8.6	7.4
経費	-	-	22.0	17.2
(うち委託料)	-	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	24,924			
(うち支払利息)	24,924	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	94.3
医業収支比率	-		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	87.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名 長崎県	
市町村・組合名	佐世保市		
病院名	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	243,223
決算規模(千円)	129,462,218
標準財政規模(千円)	61,230,575
財政力指数	0.53
経常収支比率(%)	95.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,553			
1 経常収益	26,553			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	26,553			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	26,553			
2 経常費用	26,553			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	-	-	8.6	7.4
経費	-	-	22.0	17.2
(うち委託料)	-	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	26,553			
(うち支払利息)	26,553	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	94.3
医業収支比率	-		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	87.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	佐世保市		
病院名	地方独立行政法人 北松中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	243,223
決算規模(千円)	129,462,218
標準財政規模(千円)	61,230,575
財政力指数	0.53
経常収支比率(%)	95.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,031			
1 経常収益	10,031			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	10,031			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,031			
2 経常費用	10,031			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	-	-	8.6	10.8
経費	-	-	22.0	29.9
(うち委託料)	-	-	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	10,031			
(うち支払利息)	10,031	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	91.6
医業収支比率	-		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	75.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	大村市				
病院名	市立大村市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,315 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	212	91.4	87.8	80.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	212	91.4	87.8	80.9
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	20.3	20.2

設立団体の状況		
人口(人)	95,397	
決算規模(千円)	71,339,988	
標準財政規模(千円)	23,154,559	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	518,038			
1 経常収益	518,038			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	518,038			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	38,916			
(うち長期前受金戻入)	389,297			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	431,817			
2 経常費用	431,817			
(1) 医業費用	401,871			
職員給与費	-	-	60.8	66.2
材料費	-	-	27.1	21.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	390,127	-	8.6	9.5
経費	10,885	-	22.0	28.6
(うち委託料)	-	-	11.8	14.4
研究研修費	-			
資産減耗費	859			
(2) 医業外費用	29,946			
(うち支払利息)	29,946	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	86,221			
純損益	86,221			
累積欠損金	2,109,890			
経常収支比率	120.0		93.0	89.9
医業収支比率	-		83.9	79.3
修正医業収支比率	-		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	7.5		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	111.0		81.6	77.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,920,391
1 固定資産	5,710,046
(1) 有形固定資産	5,357,105
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	352,941
2 流動資産	210,345
(1) 現金及び預金	186,806
(2) 未収金及び未収収益	9
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,149,739
1 固定負債	4,914,759
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,581,426
(2) その他の企業債	333,333
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	631,242
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	436,713
(2) その他の企業債	33,333
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	160,946
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,603,738
(1) 長期前受金	6,950,951
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,347,213
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-1,229,348
1 資本金	629,464
2 剰余金	-1,858,812
(1) 資本剰余金	251,078
(2) 利益剰余金	-2,109,890
負債・資本合計	5,920,391
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	1,229,348
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	15,607	38,916
資本勘定繰入	273,134	519,864
計	288,741	558,780

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	317,517
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	平戸市				
病院名	国民健康保険平戸市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,703 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	58	75.6	68.3	54.9
療養	29	71.0	89.7	80.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	87	74.0	75.5	63.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	16.2	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	29,365	
決算規模(千円)	27,099,224	
標準財政規模(千円)	13,086,995	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,575,073			
1 経常収益	1,565,309			
(1) 医業収益	1,288,386			
(うち修正医業収益)	1,220,995			
入院収益	657,043			
外来収益	378,901			
診療収入計	1,035,944			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	252,442			
(うち他会計負担金)	67,391			
(2) 医業外収益	276,923			
(うち国・都道府県補助金)	959			
(うち他会計補助・負担金)	198,572			
(うち長期前受金戻入)	67,794			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,764			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,651,571			
2 経常費用	1,646,999			
(1) 医業費用	1,585,788			
職員給与費	892,908	69.3	60.8	82.0
材料費	138,082	10.7	27.1	14.2
(うち薬品費)	74,431	5.8	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	63,651	4.9	11.8	6.1
減価償却費	135,497	10.5	8.6	12.5
経費	393,797	30.6	22.0	34.4
(うち委託料)	189,945	14.7	11.8	16.9
研究研修費	3,810			
資産減耗費	21,694			
(2) 医業外費用	61,211			
(うち支払利息)	6,369	0.5	0.9	1.2
(3) 特別損失	4,572			
経常損益	-81,690			
純損益	-76,498			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.0		93.0	93.1
医業収支比率	81.2		83.9	69.6
修正医業収支比率	77.0		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.0		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	20.6		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	16.9		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	78.9		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,056,950
1 固定資産	2,327,394
(1) 有形固定資産	2,321,993
(2) 無形固定資産	1,905
(3) 投資その他の資産	3,496
2 流動資産	1,729,556
(1) 現金及び預金	1,446,328
(2) 未収金及び未収収益	269,288
(3) 貸倒引当金( )	2,152
(4) 貯蔵品	15,678
3 繰延資産	-
負債合計	2,166,616
1 固定負債	895,000
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	196,307
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	698,693
(6) リース債務	-
2 流動負債	341,316
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	152,113
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	103,032
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	85,636
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	930,300
(1) 長期前受金	2,341,148
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,410,848
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,890,334
1 本金	1,565,859
2 剰余金	324,475
(1) 資本剰余金	202,396
(2) 利益剰余金	122,079
負債・資本合計	4,056,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	265,963	265,963
資本勘定繰入	172,057	172,057
計	438,020	438,020

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	平戸市				
病院名	平戸市立生月病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,086 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	52	63.1	69.2	63.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	63.1	69.2	63.1
平均在院日数(一般病床のみ)		29.7	26.8	27.4

設立団体の状況	
人口(人)	29,365
決算規模(千円)	27,099,224
標準財政規模(千円)	13,086,995
財政力指数	0.24
経常収支比率(%)	92.8
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 5.3 -

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	695,973			
1 経常収益	694,956			
(1) 医業収益	520,372			
(うち修正医業収益)	476,769			
入院収益	305,232			
外来収益	145,375			
診療収入計	450,607			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	69,765			
(うち他会計負担金)	43,603			
(2) 医業外収益	174,584			
(うち国・都道府県補助金)	1,335			
(うち他会計補助・負担金)	143,081			
(うち長期前受金戻入)	26,173			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,017			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	753,856			
2 経常費用	752,879			
(1) 医業費用	730,737			
職員給与費	424,985	81.7	60.8	82.0
材料費	47,250	9.1	27.1	14.2
(うち薬品費)	21,720	4.2	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,530	4.9	11.8	6.1
減価償却費	59,939	11.5	8.6	12.5
経費	195,023	37.5	22.0	34.4
(うち委託料)	89,386	17.2	11.8	16.9
研究研修費	1,643			
資産減耗費	1,897			
(2) 医業外費用	22,142			
(うち支払利息)	37	-	0.9	1.2
(3) 特別損失	977			
経常損益	-57,923			
純損益	-57,883			
累積欠損金	129,175			
経常収支比率	92.3		93.0	93.1
医業収支比率	71.2		83.9	69.6
修正医業収支比率	65.2		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	26.9		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	35.9		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	26.8		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	67.5		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,056,950
1 固定資産	2,327,394
(1) 有形固定資産	2,321,993
(2) 無形固定資産	1,905
(3) 投資その他の資産	3,496
2 流動資産	1,729,556
(1) 現金及び預金	1,446,328
(2) 未収金及び未収収益	269,288
(3) 貸倒引当金( )	2,152
(4) 貯蔵品	15,678
3 繰延資産	-
負債合計	2,166,616
1 固定負債	895,000
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	196,307
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	698,693
(6) リース債務	-
2 流動負債	341,316
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	152,113
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	103,032
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	85,636
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	930,300
(1) 長期前受金	2,341,148
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,410,848
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,890,334
1 本金	1,565,859
2 剰余金	324,475
(1) 資本剰余金	202,396
(2) 利益剰余金	122,079
負債・資本合計	4,056,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	181,908	186,684
資本勘定繰入	26,998	26,998
計	208,906	213,682

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	雲仙・南島原保健組合(事業会計分)		
病院名	公立小浜温泉病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,798 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	18	指定病院の状況	救 輸
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	90	88.4	86.2	83.5
療養	60	90.6	84.9	87.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	89.3	85.7	85.0
平均在院日数(一般病床のみ)		20.2	20.8	22.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	397,607			
1 経常収益	397,607			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	397,607			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	326,015			
(うち長期前受金戻入)	69,264			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	397,737			
2 経常費用	397,737			
(1) 医業費用	379,098			
職員給与費	32,782	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	167,110	-	8.6	10.8
経費	179,206	-	22.0	29.9
(うち委託料)	1,555	-	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	18,639			
(うち支払利息)	9,518	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-130			
純損益	-130			
累積欠損金	128,958			
経常収支比率	100.0		93.0	91.6
医業収支比率	-		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	82.0		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	82.0		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	18.0		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,639,322
1 固定資産	4,595,342
(1) 有形固定資産	4,495,250
(2) 無形固定資産	92
(3) 投資その他の資産	100,000
2 流動資産	1,043,980
(1) 現金及び預金	773,524
(2) 未収金及び未収収益	270,456
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,135,083
1 固定負債	1,942,903
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,942,903
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	395,756
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	188,367
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,450
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	201,309
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,796,424
(1) 長期前受金	2,369,323
(2) 長期前受金収益化累計額( )	572,899
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,504,239
1 資本金	399,681
2 剰余金	1,104,558
(1) 資本剰余金	1,233,516
(2) 利益剰余金	-128,958
負債・資本合計	5,639,322
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	46,645	326,015
資本勘定繰入	79,697	43,887
計	126,342	369,902

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名 長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団		
病院名	五島中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	20,410 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	249	57.1	55.9	59.2
療養	-	-	-	-
結核	10	3.6	8.5	0.9
精神	60	44.4	38.5	32.7
感染症	4	-	-	-
計	323	52.4	50.5	51.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	12.6	13.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,878,486			
1 経常収益	5,872,942			
(1) 医業収益	4,531,756			
(うち修正医業収益)	4,460,340			
入院収益	2,767,206			
外来収益	1,501,573			
診療収入計	4,268,779			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	262,977			
(うち他会計負担金)	71,416			
(2) 医業外収益	1,341,186			
(うち国・都道府県補助金)	93,310			
(うち他会計補助・負担金)	860,075			
(うち長期前受金戻入)	348,344			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,544			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,314,330			
2 経常費用	6,296,991			
(1) 医業費用	6,003,124			
職員給与費	3,151,686	69.5	60.8	61.3
材料費	1,098,813	24.2	27.1	26.2
(うち薬品費)	633,768	14.0	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	460,883	10.2	11.8	11.2
減価償却費	593,227	13.1	8.6	8.5
経費	1,111,615	24.5	22.0	21.8
(うち委託料)	614,823	13.6	11.8	11.9
研究研修費	19,662			
資産減耗費	28,121			
(2) 医業外費用	293,867			
(うち支払利息)	60,728	1.3	0.9	0.9
(3) 特別損失	17,339			
損益	-424,049			
純損益	-435,844			
累積欠損金	-			
経常収支比率	93.3		93.0	92.2
医業収支比率	75.5		83.9	84.6
修正医業収支比率	74.3		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	20.6		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	15.8		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	78.5		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	57,850,493
1 固定資産	39,437,767
(1) 有形固定資産	30,707,811
(2) 無形固定資産	844,635
(3) 投資その他の資産	7,885,321
2 流動資産	18,412,726
(1) 現金及び預金	13,895,765
(2) 未収金及び未収収益	4,307,524
(3) 貸倒引当金( )	79,152
(4) 貯蔵品	281,563
3 繰延資産	-
負債合計	33,605,812
1 固定負債	18,676,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,448,678
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	49,415
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,164,707
(6) リース債務	-
2 流動負債	6,564,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,315,611
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,014
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,109,468
(6) リース債務	368
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,751,192
(9) 前受金及び前受収益	10,674
3 繰延収益	8,364,727
(1) 長期前受金	13,188,216
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,823,489
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,244,681
1 本金	10,673,041
2 剰余金	13,571,640
(1) 資本剰余金	5,512,202
(2) 利益剰余金	8,059,438
負債・資本合計	57,850,493
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	896,513	931,491
資本勘定繰入	415,607	459,708
計	1,312,120	1,391,199

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団				
病院名	富江病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,092 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	55	96.1	95.7	97.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	96.1	95.7	97.0
平均在院日数(一般病床のみ)		33.9	31.6	32.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	910,407			
1 経常収益	910,115			
(1) 医業収益	742,079			
(うち修正医業収益)	711,067			
入院収益	543,091			
外来収益	140,080			
診療収入計	683,171			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	58,908			
(うち他会計負担金)	31,012			
(2) 医業外収益	168,036			
(うち国・都道府県補助金)	5,726			
(うち他会計補助・負担金)	127,920			
(うち長期前受金戻入)	25,446			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	292			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	848,274			
2 経常費用	846,605			
(1) 医業費用	815,413			
職員給与費	541,106	72.9	60.8	82.0
材料費	107,171	14.4	27.1	14.2
(うち薬品費)	34,849	4.7	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	57,411	7.7	11.8	6.1
減価償却費	47,883	6.5	8.6	12.5
経費	110,693	14.9	22.0	34.4
(うち委託料)	45,620	6.1	11.8	16.9
研究研修費	3,458			
資産減耗費	5,102			
(2) 医業外費用	31,192			
(うち支払利息)	138	-	0.9	1.2
(3) 特別損失	1,669			
経常損益	63,510			
純損益	62,133			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.5		93.0	93.1
医業収支比率	91.0		83.9	69.6
修正医業収支比率	87.2		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.5		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	21.4		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	17.5		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	88.7		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	57,850,493
1 固定資産	39,437,767
(1) 有形固定資産	30,707,811
(2) 無形固定資産	844,635
(3) 投資その他の資産	7,885,321
2 流動資産	18,412,726
(1) 現金及び預金	13,895,765
(2) 未収金及び未収収益	4,307,524
(3) 貸倒引当金( )	79,152
(4) 貯蔵品	281,563
3 繰延資産	-
負債合計	33,605,812
1 固定負債	18,676,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,448,678
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	49,415
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,164,707
(6) リース債務	-
2 流動負債	6,564,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,315,611
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,014
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,109,468
(6) リース債務	368
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,751,192
(9) 前受金及び前受収益	10,674
3 繰延収益	8,364,727
(1) 長期前受金	13,188,216
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,823,489
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,244,681
1 本金	10,673,041
2 剰余金	13,571,640
(1) 資本剰余金	5,512,202
(2) 利益剰余金	8,059,438
負債・資本合計	57,850,493
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	152,427	158,932
資本勘定繰入	6,000	6,000
計	158,427	164,932

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団		
病院名	上五島病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	13,954 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感へ災
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	132	51.6	57.7	52.9
療養	50	88.4	83.5	86.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	186	60.4	63.4	60.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	19.2	16.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,343,696			
1 経常収益	4,313,223			
(1) 医業収益	3,577,036			
(うち修正医業収益)	3,515,652			
入院収益	1,743,981			
外来収益	1,489,348			
診療収入計	3,233,329			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	343,707			
(うち他会計負担金)	61,384			
(2) 医業外収益	736,187			
(うち国・都道府県補助金)	35,084			
(うち他会計補助・負担金)	415,281			
(うち長期前受金戻入)	212,343			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	30,473			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,893,598			
2 経常費用	4,869,726			
(1) 医業費用	4,666,390			
職員給与費	2,601,756	72.7	60.8	69.3
材料費	823,347	23.0	27.1	18.4
(うち薬品費)	400,216	11.2	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	383,795	10.7	11.8	9.1
減価償却費	448,772	12.5	8.6	10.8
経費	700,238	19.6	22.0	29.9
(うち委託料)	191,584	5.4	11.8	13.7
研究研修費	39,353			
資産減耗費	52,924			
(2) 医業外費用	203,336			
(うち支払利息)	2,580	0.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	23,872			
経常損益	-556,503			
純損益	-549,902			
累積欠損金	-			
経常収支比率	88.6		93.0	91.6
医業収支比率	76.7		83.9	77.4
修正医業収支比率	75.3		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	11.0		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	78.8		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	57,850,493
1 固定資産	39,437,767
(1) 有形固定資産	30,707,811
(2) 無形固定資産	844,635
(3) 投資その他の資産	7,885,321
2 流動資産	18,412,726
(1) 現金及び預金	13,895,765
(2) 未収金及び未収収益	4,307,524
(3) 貸倒引当金( )	79,152
(4) 貯蔵品	281,563
3 繰延資産	-
負債合計	33,605,812
1 固定負債	18,676,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,448,678
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	49,415
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,164,707
(6) リース債務	-
2 流動負債	6,564,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,315,611
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,014
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,109,468
(6) リース債務	368
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,751,192
(9) 前受金及び前受収益	10,674
3 繰延収益	8,364,727
(1) 長期前受金	13,188,216
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,823,489
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,244,681
1 本金	10,673,041
2 剰余金	13,571,640
(1) 資本剰余金	5,512,202
(2) 利益剰余金	8,059,438
負債・資本合計	57,850,493
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	443,650	476,665
資本勘定繰入	86,104	90,335
計	529,754	567,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名		長崎県病院企業団			
病院名		上対馬病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,554 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	52.4	53.5	63.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	52.4	53.5	63.4
平均在院日数(一般病床のみ)		26.3	28.0	25.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	941,053			
1 経常収益	941,039			
(1) 医業収益	645,210			
(うち修正医業収益)	612,924			
入院収益	325,680			
外来収益	227,050			
診療収入計	552,730			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	92,480			
(うち他会計負担金)	32,286			
(2) 医業外収益	295,829			
(うち国・都道府県補助金)	25,001			
(うち他会計補助・負担金)	194,819			
(うち長期前受金戻入)	57,435			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,151,503			
2 経常費用	1,150,570			
(1) 医業費用	1,105,178			
職員給与費	760,730	117.9	60.8	82.0
材料費	101,988	15.8	27.1	14.2
(うち薬品費)	37,520	5.8	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	54,051	8.4	11.8	6.1
減価償却費	88,743	13.8	8.6	12.5
経費	147,763	22.9	22.0	34.4
(うち委託料)	53,275	8.3	11.8	16.9
研究研修費	2,840			
資産減耗費	3,114			
(2) 医業外費用	45,392			
(うち支払利息)	2,070	0.3	0.9	1.2
(3) 特別損失	933			
経常損益	-209,531			
純損益	-210,450			
累積欠損金	213,694			
経常収支比率	81.8		93.0	93.1
医業収支比率	58.4		83.9	69.6
修正医業収支比率	55.5		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.1		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	35.2		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	24.1		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	62.1		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	57,850,493
1 固定資産	39,437,767
(1) 有形固定資産	30,707,811
(2) 無形固定資産	844,635
(3) 投資その他の資産	7,885,321
2 流動資産	18,412,726
(1) 現金及び預金	13,895,765
(2) 未収金及び未収収益	4,307,524
(3) 貸倒引当金( )	79,152
(4) 貯蔵品	281,563
3 繰延資産	-
負債合計	33,605,812
1 固定負債	18,676,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,448,678
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	49,415
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,164,707
(6) リース債務	-
2 流動負債	6,564,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,315,611
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,014
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,109,468
(6) リース債務	368
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,751,192
(9) 前受金及び前受収益	10,674
3 繰延収益	8,364,727
(1) 長期前受金	13,188,216
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,823,489
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,244,681
1 本金	10,673,041
2 剰余金	13,571,640
(1) 資本剰余金	5,512,202
(2) 利益剰余金	8,059,438
負債・資本合計	57,850,493
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	221,039	227,105
資本勘定繰入	28,863	28,863
計	249,902	255,968

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団		
病院名	精神医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,161 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	3	指定病院の状況	臨感
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	139	75.8	80.1	82.8
感染症	-	-	-	-
計	139	75.8	80.1	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,948,150			
1 経常収益	1,947,946			
(1) 医業収益	1,448,587			
(うち修正医業収益)	1,413,307			
入院収益	1,155,918			
外来収益	225,210			
診療収入計	1,381,128			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	67,459			
(うち他会計負担金)	35,280			
(2) 医業外収益	499,359			
(うち国・都道府県補助金)	12,554			
(うち他会計補助・負担金)	419,369			
(うち長期前受金戻入)	57,532			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	204			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,013,073			
2 経常費用	2,007,877			
(1) 医業費用	1,961,624			
職員給与費	1,361,547	94.0	60.8	108.5
材料費	145,920	10.1	27.1	9.4
(うち薬品費)	129,506	8.9	14.8	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,709	1.1	11.8	1.4
減価償却費	123,149	8.5	8.6	12.6
経費	321,692	22.2	22.0	34.8
(うち委託料)	169,424	11.7	11.8	15.4
研究研修費	7,689			
資産減耗費	1,627			
(2) 医業外費用	46,253			
(うち支払利息)	1,309	0.1	0.9	2.1
(3) 特別損失	5,196			
経常損益	-59,931			
純損益	-64,923			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.0		93.0	95.5
医業収支比率	73.8		83.9	60.3
修正医業収支比率	72.0		81.0	57.7
他会計繰入金対経常収益比率	23.3		12.2	35.6
他会計繰入金対医業収益比率	31.4		14.3	58.4
他会計繰入金対総収益比率	23.3		12.3	35.3
実質収益対経常費用比率	74.4		81.6	61.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	57,850,493
1 固定資産	39,437,767
(1) 有形固定資産	30,707,811
(2) 無形固定資産	844,635
(3) 投資その他の資産	7,885,321
2 流動資産	18,412,726
(1) 現金及び預金	13,895,765
(2) 未収金及び未収収益	4,307,524
(3) 貸倒引当金( )	79,152
(4) 貯蔵品	281,563
3 繰延資産	-
負債合計	33,605,812
1 固定負債	18,676,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,448,678
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	49,415
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,164,707
(6) リース債務	-
2 流動負債	6,564,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,315,611
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,014
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,109,468
(6) リース債務	368
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,751,192
(9) 前受金及び前受収益	10,674
3 繰延収益	8,364,727
(1) 長期前受金	13,188,216
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,823,489
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,244,681
1 本金	10,673,041
2 剰余金	13,571,640
(1) 資本剰余金	5,512,202
(2) 利益剰余金	8,059,438
負債・資本合計	57,850,493
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	441,415	454,649
資本勘定繰入	33,790	33,790
計	475,205	488,439

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名		長崎県病院企業団			
病院名		島原病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	21,842 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救急が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	203	71.3	67.4	65.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	207	70.2	66.3	64.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	13.4	13.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,094,062			
1 経常収益	6,082,504			
(1) 医業収益	5,242,376			
(うち修正医業収益)	5,125,470			
入院収益	3,694,728			
外来収益	1,362,307			
診療収入計	5,057,035			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	185,341			
(うち他会計負担金)	116,906			
(2) 医業外収益	840,128			
(うち国・都道府県補助金)	129,698			
(うち他会計補助・負担金)	391,303			
(うち長期前受金戻入)	303,103			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,558			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,604,321			
2 経常費用	6,592,071			
(1) 医業費用	6,198,741			
職員給与費	3,242,999	61.9	60.8	66.2
材料費	1,388,940	26.5	27.1	21.2
(うち薬品費)	813,181	15.5	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	528,129	10.1	11.8	10.1
減価償却費	447,174	8.5	8.6	9.5
経費	1,099,058	21.0	22.0	28.6
(うち委託料)	554,961	10.6	11.8	14.4
研究研修費	17,249			
資産減耗費	3,321			
(2) 医業外費用	393,330			
(うち支払利息)	58,554	1.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	12,250			
損益	-509,567			
純損益	-510,259			
累積欠損金	-			
経常収支比率	92.3		93.0	89.9
医業収支比率	84.6		83.9	79.3
修正医業収支比率	82.7		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	9.7		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	8.3		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	84.6		81.6	77.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	57,850,493
1 固定資産	39,437,767
(1) 有形固定資産	30,707,811
(2) 無形固定資産	844,635
(3) 投資その他の資産	7,885,321
2 流動資産	18,412,726
(1) 現金及び預金	13,895,765
(2) 未収金及び未収収益	4,307,524
(3) 貸倒引当金( )	79,152
(4) 貯蔵品	281,563
3 繰延資産	-
負債合計	33,605,812
1 固定負債	18,676,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,448,678
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	49,415
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,164,707
(6) リース債務	-
2 流動負債	6,564,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,315,611
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,014
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,109,468
(6) リース債務	368
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,751,192
(9) 前受金及び前受収益	10,674
3 繰延収益	8,364,727
(1) 長期前受金	13,188,216
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,823,489
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,244,681
1 本金	10,673,041
2 剰余金	13,571,640
(1) 資本剰余金	5,512,202
(2) 利益剰余金	8,059,438
負債・資本合計	57,850,493
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	479,378	508,209
資本勘定繰入	356,068	415,862
計	835,446	924,071

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名		長崎県病院企業団			
病院名		吉岐病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	12,290 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救感災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	120	88.4	89.1	78.9
療養	48	68.8	74.6	73.3
結核	6	25.7	24.0	1.0
精神	50	-	-	-
感染症	4	10.6	21.5	127.1
計	228	61.9	63.7	59.2
平均在院日数(一般病床のみ)		18.8	20.8	20.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,964,427			
1 経常収益	3,930,580			
(1) 医業収益	3,317,731			
(うち修正医業収益)	3,237,123			
入院収益	2,023,695			
外来収益	1,030,905			
診療収入計	3,054,600			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	263,131			
(うち他会計負担金)	80,608			
(2) 医業外収益	612,849			
(うち国・都道府県補助金)	16,360			
(うち他会計補助・負担金)	444,056			
(うち長期前受金戻入)	133,278			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	33,847			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,348,505			
2 経常費用	4,328,476			
(1) 医業費用	4,137,738			
職員給与費	2,191,968	66.1	60.8	66.2
材料費	801,120	24.1	27.1	21.2
(うち薬品費)	393,898	11.9	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	365,841	11.0	11.8	10.1
減価償却費	243,621	7.3	8.6	9.5
経費	874,910	26.4	22.0	28.6
(うち委託料)	350,251	10.6	11.8	14.4
研究研修費	13,400			
資産減耗費	12,719			
(2) 医業外費用	190,738			
(うち支払利息)	37,552	1.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	20,029			
損益	-397,896			
純損益	-384,078			
累積欠損金	-			
経常収支比率	90.8		93.0	89.9
医業収支比率	80.2		83.9	79.3
修正医業収支比率	78.2		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	13.3		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	15.8		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	13.2		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	78.7		81.6	77.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	57,850,493
1 固定資産	39,437,767
(1) 有形固定資産	30,707,811
(2) 無形固定資産	844,635
(3) 投資その他の資産	7,885,321
2 流動資産	18,412,726
(1) 現金及び預金	13,895,765
(2) 未収金及び未収収益	4,307,524
(3) 貸倒引当金( )	79,152
(4) 貯蔵品	281,563
3 繰延資産	-
負債合計	33,605,812
1 固定負債	18,676,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,448,678
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	49,415
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,164,707
(6) リース債務	-
2 流動負債	6,564,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,315,611
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,014
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,109,468
(6) リース債務	368
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,751,192
(9) 前受金及び前受収益	10,674
3 繰延収益	8,364,727
(1) 長期前受金	13,188,216
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,823,489
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,244,681
1 本金	10,673,041
2 剰余金	13,571,640
(1) 資本剰余金	5,512,202
(2) 利益剰余金	8,059,438
負債・資本合計	57,850,493
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	494,287	524,664
資本勘定繰入	114,443	144,923
計	608,730	669,587

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団		
病院名	対馬病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	19,812 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が感へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	222	67.5	67.1	67.1
療養	-	-	-	-
結核	4	7.4	3.8	-
精神	45	70.2	74.4	72.4
感染症	4	-	2.8	182.1
計	275	66.1	66.4	68.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	15.8	16.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,887,038			
1 経常収益	5,757,392			
(1) 医業収益	4,601,392			
(うち修正医業収益)	4,484,223			
入院収益	2,606,267			
外来収益	1,568,282			
診療収入計	4,174,549			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	426,843			
(うち他会計負担金)	117,169			
(2) 医業外収益	1,156,000			
(うち国・都道府県補助金)	52,941			
(うち他会計補助・負担金)	804,670			
(うち長期前受金戻入)	237,838			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	129,646			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,389,729			
2 経常費用	6,370,898			
(1) 医業費用	6,062,896			
職員給与費	3,460,969	75.2	60.8	66.2
材料費	1,080,808	23.5	27.1	21.2
(うち薬品費)	612,415	13.3	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	415,910	9.0	11.8	10.1
減価償却費	545,434	11.9	8.6	9.5
経費	947,215	20.6	22.0	28.6
(うち委託料)	417,483	9.1	11.8	14.4
研究研修費	19,123			
資産減耗費	9,347			
(2) 医業外費用	308,002			
(うち支払利息)	36,753	0.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	18,831			
経常損益	-613,506			
純損益	-502,691			
累積欠損金	1,339,683			
経常収支比率	90.4		93.0	89.9
医業収支比率	75.9		83.9	79.3
修正医業収支比率	74.0		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	16.0		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	20.0		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	15.7		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	75.9		81.6	77.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	57,850,493
1 固定資産	39,437,767
(1) 有形固定資産	30,707,811
(2) 無形固定資産	844,635
(3) 投資その他の資産	7,885,321
2 流動資産	18,412,726
(1) 現金及び預金	13,895,765
(2) 未収金及び未収収益	4,307,524
(3) 貸倒引当金( )	79,152
(4) 貯蔵品	281,563
3 繰延資産	-
負債合計	33,605,812
1 固定負債	18,676,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,448,678
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	49,415
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,164,707
(6) リース債務	-
2 流動負債	6,564,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,315,611
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,014
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,109,468
(6) リース債務	368
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,751,192
(9) 前受金及び前受収益	10,674
3 繰延収益	8,364,727
(1) 長期前受金	13,188,216
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,823,489
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	24,244,681
1 本金	10,673,041
2 剰余金	13,571,640
(1) 資本剰余金	5,512,202
(2) 利益剰余金	8,059,438
負債・資本合計	57,850,493
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	887,140	921,839
資本勘定繰入	179,483	226,921
計	1,066,623	1,148,760

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。